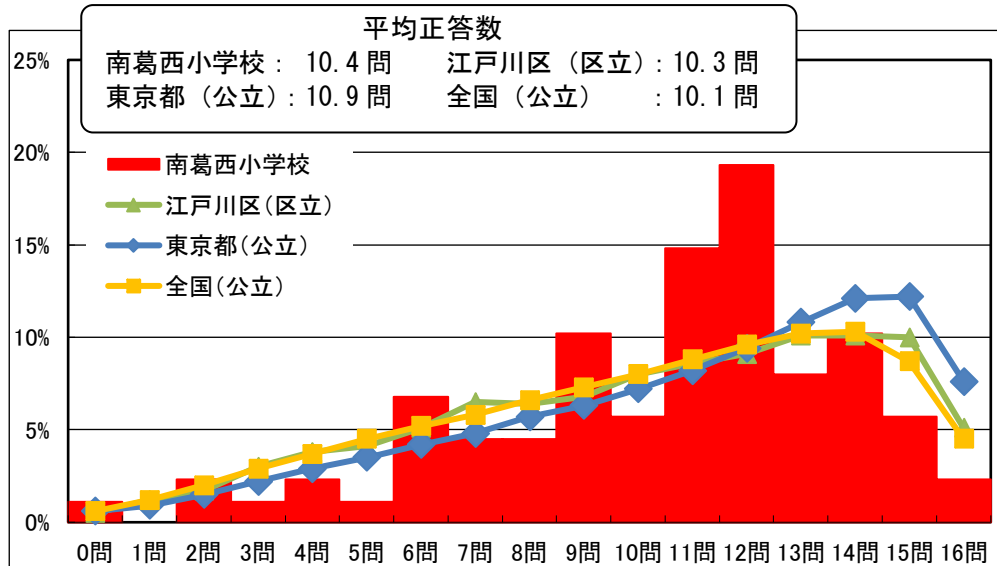


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】南葛西小学校

正答数分布



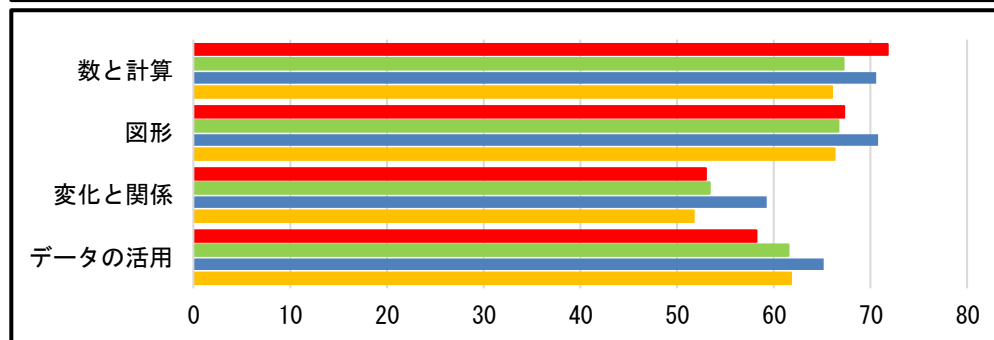
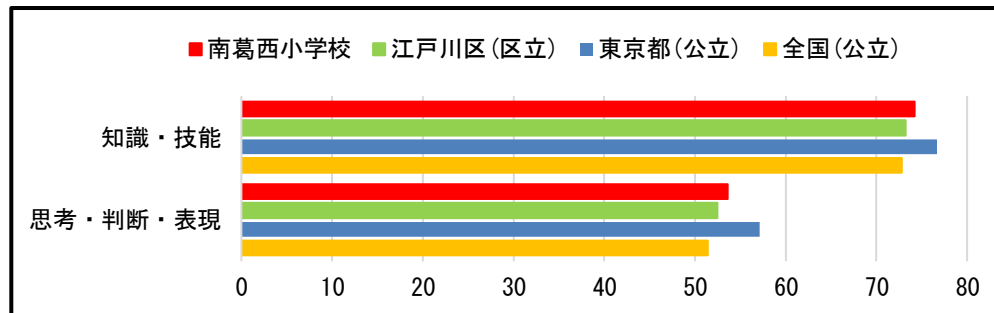
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

算数	四分位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
南葛西小学校	18.8	27.3	35.0	18.9
江戸川区（区立）	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都（公立）	31.9	20.2	27.4	20.5
全国（公立）	23.5	19.8	30.7	26.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

南葛西小学校	65%
江戸川区（区立）	64%
東京都（公立）	68%
全国（公立）	63.4%
都との差	3ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

「数と計算」の領域では、東京都の平均正答率を大きく上回る項目も複数あり、チャレンジタイムや放課後補習教室で基礎基本をくり返し指導したことが結果につながったと考えられる。

言葉や数を用いて自分の考えなどを記述することに課題がある。日々の授業で「江戸川区算数スタンダード」をもとに、自力解決の時間で根拠のある考えをもってノートにまとめたり、比較・検討の時間では、友達に自分の言葉で説明したりするなどして、力を伸ばしていく。